



才能と賜物

工藤篤子ワーシップ・
ミニストリーズ 代表
工藤 篤子



キリストは、神のかたちであられたが、神と等しくあることを固守すべき事とは思わず、かえって、おのれをむなしくして僕のかたちをとり、人間の姿になられた。

その有様は人と異ならず、おのれを低くして、死に至るまで、しかも十字架の死に至るまで従順であられた。

(ピリピ人への手紙 2章 6-8節、口語訳)

私たちは、才能や能力がある人を見ると、それが神がその人に与えた賜物であると思いがちです。しかし、聖書をよく読んでみますと、賜物イコール才能や能力ではないことが分かります。才能（能力）は、音楽面では、歌い演奏する才能、作曲する才能など、聖霊がなくても与えられ、努力と研鑽によって磨いていくことができます。しかし、聖書で語られている賜物は、聖霊を通して与えられるものです。もちろん、神の知恵と悟りと知識をもって、幕屋とそこに用いられる道具、祭司の服、香を作ったベザレル（ベツアルエル）やアホリアブ（オホリアブ）のように、神がご自身の霊を満たして特別な能力をお与えになる場合もあります。

マタイ25章15節を見ますと、僕しもべのそれぞれの能力に応じて、5タラント、2タラント、1タラントが与えられています。つまり、与えられるタラント（賜物）は、僕しもべの能力によるのです。その能力とは、聖書を見ると、第一に、主の御心を成し遂げるために死に至るまで従順であること（ピリピ2:6-8）、第二に、ふたりの主人に仕えないこと（ルカ16:13、富に仕えず神に仕える）、第三に、任された仕事を果たす忠実さ（マタイ25:14-23）であることが分かります。

ですから、賜物を求める者は、絶えず十字架を見上げ、自分の肉を十字架に付け、みことばを行い、御霊によって日々内側を新たにされ、神に忠実に仕

えてゆかなければなりません。賜物は、キリストのからだなる教会を建て上げるために与えられるものですから、仕え合う中で必要な御霊の賜物が注がれ、豊かにされ、すでに与えられている能力も、神にとって有益なものであれば、聖霊の中で真に生かされたものとなっていきます。

そう考えると、一体私にはどれほど僕としての能力があるのか、どれほどの賜物が与えられているのか、立ち止まって自分を吟味せざるを得ないのです。自分は、キリストのように、死に至るまで主に従順に歩む覚悟が出来ているだろうか？ふたりの主人に仕えていないだろうか（この世の富への思いを絶えず十字架に付けているだろうか）？主から委ねられた仕事をどれだけ忠実に果たしているだろうか？

人として生まれ、地上に生きられた間、神としての權威を一切用いず、すべてを父なる神に祈り、聞き、御心を行い、死に至るまで従順に歩まれたイエス様に感謝します。イエス様が一瞬たりとも肉には従わず、御霊に従って勝利を収めてくださったからこそ、御子を信じる私たちにも、勝利を得る道が開かれました。キリストの十字架の足跡に従い、僕としての訓練を受けつつ、互いに励まし合いながら、キリストのからだなる教会を建て上げるため、しみも傷もない美しい花嫁として御前に立たせていただくために、聖霊が与えてくださる賜物を切に求めていこうではありませんか。



— 東方教会と西方教会 —

イエス様が十字架に架けられたのは、ご自身が神の子であり、ユダヤ人の王であると証しされたからでした。それゆえ、イエス様の十字架に掲げられた罪状書きには、ポンテオ・ピラトによって、ラテン語、ヘブライ語、ギリシャ語で「ユダヤ人の王、ナザレのイエス」と記されました。ユダヤの指導者である律法学者、パリサイ人らは、神の御子に逆らい、イエスが神の御業を行うのを見るにつれて、ますます妬みかられて心をかたくなにし、ついには十字架に付けてしまうのです。それによってユダヤは、国家として受ける神の裁きから逃れられない罪に陥りました。

イエス様の十字架の贖いの後、使徒の時代に入って、ステパノが石打ちの刑で殺された時、サンヘドリン会議で、ユダヤの指導者たちは正式にイエス様の復活を否定しました。それまで、ユダヤ人の間にだけとどまっていた福音は、この出来事以来、異邦人へと向けられていきます。そしてこの出来事が、福音が全世界に広がって行くきっかけとなり、教会誕生の土台になっていることを見るのです。

ユダヤ国家の罪過を通しての教会の誕生という結果は、同時に、私たち異邦人にもたらされた大きな恵みでありました。この恵みは、異邦人が全部救われるに至る時まで続き、それからイスラエル人がすべて救われることとなります（口語訳聖書ローマ11:25-26 参照）。

今回は、異邦人教会の中で生まれる賛美が、それぞれの地域で打ち立てられて行く神学と、その時代の教会の霊性に準じて変遷して行く様を共に見て行きたいと思えます。

東方教会の発展

東方から昇った福音の光は大きく前進し、301年のアルメニア、4世紀半ばのグルジアに続いて、392年には、ローマ皇帝テオドシスがキリスト教を国教と定めます。ローマ帝国では、313年に、すでにコンスタンティヌスが「一つの帝国、一つの教会」政策を打ち立てていました。「一つの帝国」とはディオクレアティヌスの理想で、一人の独裁的な皇帝の意志によって帝国を再編成すること、「一つの教会」とは、その再編成のためにキリスト教を利用することでした。330年に帝都を異教宗教の強いローマから、キリスト教人口の集中している東方のコンスタンティノポリス（ビザンティン）に移したのもそのためです。そしてローマ帝国は、威厳ある帝国にふさわしい、荘厳かつ組織・信仰が整った教会を次々に建設していきました。

また「組織・信仰が整った教会」のために、典礼（礼拝）の統一が図られるようになりました。まずはエルサレムの典礼を模範としました。エルサレムの典礼を短く紹介しますと、共同食事である愛餐（アガペー）と聖餐（エウカリスティア）とが区別され、後者が礼拝の中心でした。また聖餐式の骨組みは、聖書朗読（旧約聖書と使徒の手紙、のちには使徒の手紙と福音書）、説教、奉納、聖別、陪餐（パンとぶどう酒を受ける）で、この間に、祈祷、賛美、感謝のことがはさまれます。会衆は、司式者の祈りや賛美のことに、アーメン、ハレルヤ、後に頌栄（ドクソロジー）や交唱（レスポンス）となる短いフレーズを歌唱していました。

東ローマ帝国がキリスト教を容認した313年から、オスマン帝国によって滅ぼされる1543年までの12世紀に及ぶ東方教会の礼拝を、ビザンツ典礼、そしてそこで歌われた聖歌をビザンツ聖歌と呼びます。現在のギリシャ正教とロシア正教はこの流れを汲むものです。

工藤篤子 賛美CD 好評発売中 … ご注文、お問い合わせはAKWMホームページまたは事務局まで

Atsuko Kudo
Worship music from the heart

主よ人の望みの喜びよ
工藤篤子

定価 1,500円 (税込)

「主よ人の望みの喜びよ」「マタイ受難曲アリア」「メサイヤ・アリア」「キリストにはかえられません」「アメイジング・グレイス」「主の祈り」など、たましいの歌 12 曲。

Atsuko Kudo
よき力に守られて

よき力に守られて
定価 2,500円 (税込)

ボンヘッファーの「よき力に守られて」を中心に、「あなたに」「神の恵み」「詩篇 23 篇」「ああ感謝せん」など 14 曲。

The true desire
ほんとうの願い

ほんとうの願い
定価 3,000円 (税込)

リュート奏者、今村泰典氏の賛美曲、バッハ、カステッロ、シュッツの作品、「キリストには代えられません」「いつくしみ深き」など 22 曲。

Atsuko Kudo
Dios tan sólo Dios

神だけが Dios tan solo Dios
定価 2,500円 (税込)

「安けさは川のごとく」「赤とんぼ」「荒城の月」「黄金のエルサレム」「私を平和の道具としてください」などライブ録音 12 曲。

Canción
カンシオン Canción
定価 2,500円 (税込)

「きみは愛されるため生まれた」とこしえに真実なお方「救い主イエスと」「なんて美しい都（ゴスペル）などライブ録音 14 曲。

Come To Me
Come To Me
定価 3,000円 (税込)

「鹿のように」「安けさは川のごとく」「Via Dolorosa」「輝く日を仰ぐとき」「カドシュ」「いちわのすずめ」「アメイジング・グレイス」など 18 曲。

讚美 Adorar
定価 1,500円 (税込)

中国語、台湾語賛美を中心とした「鹿のように」「丘に立てる荒削りの」「主は今生きておられる」「耶和華祝福満満」「主よ人の望みの喜びよ」「鳥のうた」など 12 曲。



西方(ローマ)教会

330年にローマ帝国の首都がビザンティン(後にコンスタンティノポリスと改名、現在のトルコのイスタンブール)に移された後も、帝国の西半分は事実上ミラノに置かれていました。しかし、異教の影響化にあった西方の一般人をキリスト教に親しませるために異教の文化を取り入れたため、一時は教会音楽が混乱状態に陥りました。ある教会では異教の音楽、また



サンタンブロージョ聖堂(聖アンブロシウス聖堂 386年献堂のミラノ最古の聖堂)

宴会で用いられていた笛や竖琴を用いました。しかしながら、笛や竖琴の使用は、ある意味ではユダヤの神殿音楽の復興とも言えます。また一度禁止されていた賛美歌の即興なども行われていたようです。いずれにしても教会指導者たちは、異教を思い起こさせる音楽スタイルの排除に努めました。またこのことから

典礼文歌唱の旋律の整理が始まります。これはミラノ典礼と呼ばれるようになります。

476年、西ローマ帝国は略奪され、実権はゲルマン民族の将軍と軍隊によって握られるようになりました。これを機に、ヨーロッパの古代は終わり、その後1300年までの800年が中世となります。五世紀の、安泰な東ローマ帝国(ビザンティン)と、滅亡を迎えた西ローマ帝国との明暗のコントラストは鮮明です。しかし霊的には、安泰な東方教会に黒雲が、逆境の西方教会に光明が見いだされたのです。

アンブロシウス聖歌

374年にミラノ司教に選出されたアンブロシウス(340年頃-397年)はミラノ教会の基礎を確立したことで有名です。すでに、西方教会の公用語はラテン語になっていました。その後、ミラノ典礼はアンブロシウス聖歌と呼ばれるようになります。彼は、東方の習慣を取り入れて、詩篇の交唱様式を取り入れたとされています。ニュースレター87号で述べたように、詩篇交唱はまずエジプトの修道士たちによって始められ、その後シリアの教会に伝わっていました。アンブロシウスはまた聖書以外のことばを用い、韻文の有節形式の賛歌(イムヌム)を作ったとも言われています。ここにそのひとつの例を挙げておきます。



アンブロシウスのモザイク壁画(サンタンブロージョ聖堂内)

<i>Aeterne rerum conditor</i>	永遠なる事物の創り主
<i>Deus creator omnium</i>	万物の創り主である神
<i>Jam surgit hora tertia</i>	第三時に立ち上がり
<i>Veni Redemptor gentium</i>	来たれ、人々の贖い主よ

これらが後のローマ典礼において聖務日課で歌われる賛美の模範となりました。

今回は、アンブロシウスの弟子であり、教会の父の一人と呼ばれるアウグスティヌスに言及したいと思います。

賛美セミナーDVD CDも好評発売中



賛美セミナーII DVD 2枚組

2015年11月7日大阪セミナー録画(テキスト付)
定価 4,000円(税込)

1. 詩篇から学ぶ賛美
2. 賛美のいけにえ・キリストの賛美
3. ロックの起源・歴史とその影響
4. いろいろなりズムとことばに即した賛美実演(野田常喜)



賛美セミナーI DVD 2枚組

2013年11月4日大阪セミナー録画(テキスト付)
定価 4,000円(税込)



賛美セミナーI CD 4枚組

2013年11月9日東京セミナー録音(テキスト付)
定価 4,000円(税込)

1. 賛美とは
2. 詩篇 51, 50 (悔い改めを通してささげる賛美)
3. ビート音楽の影響
4. 音楽と聖書

※内容はDVD CD共に同じです。

賛美セミナーIIと賛美セミナーIのアイテムを併せてご注文される場合、特別価格でお求めいただけます。

お知らせ

「賛美セミナー」開催をご希望、あるいはご検討いただける教会・団体がございましたら、お気軽に事務局まで、ご連絡、ご相談ください。

4月 Apr.

22日(土) 14:00~ **グレイスハウス教会 献堂式 特別賛美**
(岩手県大船渡市)
23日(日) 10:30~ **同教会 礼拝 特別賛美**

6月 June

15日(木) 10:30~ **JEC レディース・カンファレンス
コンサートとメッセージ**
会場：堺市産業振興センター

7月 July

6日(木) 14:00~16:00 **アフタヌーン サマーコンサート**
会場：古賀政男音楽博物館 けやきホール (渋谷区)
主催：活けるキリスト 一麦東京教会

9月 Sept.

3日(日) 19:00~21:00 **新札幌聖書教会 30周年記念コンサート**

10月 Oct.

5日(木) **阪神女性の集い**
会場：ルナ・ホール (芦屋市民会館大ホール)

29日(日) 15:00~ **宝塚栄光教会 チャペル・コンサート**

12月 Dec.

2日(土) **札幌聖書キリスト教会 クリスマス・コンサート**

※ 記載の予定以外に、定期的に賛美レッスン(個人、グループ)を行っています。ご希望の方は、事務局までお問い合わせください。

2022年 会計報告

感謝と共に
ご報告いたします。



収入		支出	
2021年より繰越	1,210,599	工藤篤子師 生活費	1,980,000
献金	4,128,934	工藤篤子師 研究費・活動費	780,000
その他の収入(利息等)	8	ニュースレター発行・発送費	339,983
		事務費	158,327
		振込手数料	26,693
		事務局賃借料・水光熱費	330,407
		対外献金	458,910
		スタッフ人件費・交通費	247,495
		2023年への繰越	1,017,726
収入合計	5,339,541	支出合計	5,339,541

主にあって愛する皆さま

主の御名を賛美いたします。

皆さまのお祈りとご支援に心から感謝いたします。

3月10日、CLA(クリスチャン・レディース・アソシエーション)の特別集会で、午前、午後と、それぞれ40分ほどの賛美と証しの時を持たせていただきました。



CLAは、2010年に開催された関西フランクリン・グラハム フェスティバルの時に結成された「レディース委員会」(女性クリスチャンによる女性伝道のための委員会)のメンバーが、大会後、このまま終わってしまうのもったいないと、2011年3月11日に、新たにCLAとして始められた集会(月例会)です。しかし、その日、あの大地震が起きたのです。大阪の集会場も船のように大きく揺れたそうです。そのため、3月には毎年特別集会

を企画し、CLAのメンバーの皆さんは、断食をもってこの日に臨んでおられます。

私は2012年から数年間、岩手県、福島県の被災地を回らせていただきました。その時にお世話くださったお一人である齋藤 満先生(日本同盟基督教団)が、7年前から大船渡で開拓伝道を始め、昨年教会としての家を購入し、この4月22日に献堂式が執り行われることになりました。そのお祝いに、私も賛美を携えて行かせていただくことになっています。

被災地は、復興が進み、見た目は大きく変わりましたが、心の痛み、傷は簡単に癒えるものではありません。どうぞ、この地に、神様の癒しと救いがもたらされますようお祈りください。

皆さまに、主の豊かな恵みと平安がありますように!

工藤篤子



工藤篤子ワーシップ・ミニストリーズ 事務局

Atsuko Kudo Worship Ministries

AKWMの伝道活動は、皆様のお祈りと献金とご奉仕によって成り立っています。ご支援くださる皆様をこの活動の一員と考えています。この活動がますます主に用いられ、宣教が進みますように、どうぞ一員としてご参加、ご支援ください。

事務局

〒590-0027 大阪府堺市堺区榎元町5丁5番9号
TEL.090-5241-5086 FAX.050-3153-0648

郵便振替口座 00930-1-165955 「工藤篤子ワーシップ・ミニストリーズ」

銀行振込口座 三菱UFJ銀行 瓦町支店(店番003)

普通預金0133752 「工藤篤子ワーシップ・ミニストリーズ」

※三菱UFJ銀行にお振り込みくださる場合はお名前を表示をお願いいたします。また、事務局にご連絡いただけますなら感謝です。



メールマガジン登録受付中!

office@akworship.com

メルマガ購読を希望される方や、その他のご連絡などは、上記のメールアドレスまでお願いします。

メールマガジン、ニュースレターは、下記のホームページでもご覧いただけます。



Website URL

https://akworship.com/

※URLが変わりました。ブックマークの変更をお願いします。